

令和8年度 第1回磐田市男女共同参画審議会 摘録

日 時	令和8年 6 月 23 日(火) 午前 9 時00分～午前 11 時00分
場 所	磐田市役所 本庁舎 4 階 大会議室
出席委員	委員8名 鈴木 まり子、住田 碧、伊藤 八重子、久永 公子、夏目 裕子、 松野 裕貴、鈴木 陽介、西藤 正江 ※敬称略
事務局	自治市民部長、自治デザイン課長、共生社会推進グループ長、担当3名

[会議概要摘録]

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 委嘱状交付
- 4 会長・副会長の選任
- 5 自己紹介
- 6 報告事項

- (1)令和7年度 第3次磐田市男女共同参画プランの結果について 資料1
- (2)令和8年度 第3次磐田市男女共同参画プランの計画について 資料2
- (3)第3次磐田市男女共同参画プランの数値目標に対する現状 資料3
- (4)第4次磐田市男女共同参画プラン策定スケジュールについて 資料4

(報告事項での主な意見)

- ・取組結果について、福祉政策課の所管である小学校での人権教室の記載がなかった。各課で実施している男女共同参画関連の取組を取りこぼさないよう次期プランには反映させていくべきだが、計画期間の途中であっても、臨機応変に対応していくことが重要である。
- ・進捗調査票はPDCAが網羅されていると良い。現行の進捗報告はP(計画)とD(実行)しか記載がないため、どのような効果があったかなど PDCA サイクルが可視化さ

れるとより効果的な計画遂行になると感じる。

- ・地域づくり協議会や交流センターがより一層男女共同参画分野に関わっていくとよい。

7 協議事項

(1)第4次磐田市男女共同参画プランの骨子案について

資料5

(協議事項での主な意見)

○基本理念と施策体系について

- ・意識については、数値的な成果があっても明確なゴールがあるわけではないので、常に内容をアップデートすることが必要である。
- ・「男性の生きづらさ」は抽象的でわかりにくいいため、具体的な表現があるといい。
- ・「地域活動への女性の参画推進」とあるが、女性にも当事者意識を持ってもらうため、「参画促進」という表現より、「固定的役割分担概念の打破」のような強い表現としてもいいと思う。
- ・「輝ける」は「輝く」とする方が自然である。
- ・全体的に漢字が多く、言葉が難しいためイメージが湧かない。もっと単純でわかりやすい表現がよいのでは。
- ・外国の方が1万人を超える磐田市。「やさしい日本語」をなるべく使用して、理解促進につなげるのはいかがでしょうか。
- ・4コママンガにする等表現方法を工夫すると理解が進む。どの世代にもわかりやすいプランとなると良い。

○重点施策について

- ・法律は、改正や新たに制定となることがあるため、常に情報発信をしていく必要がある。
- ・「包括的支援体制構築」という記載があるが、表現が難しい。
- ・ジェンダーギャップとあるが、「職場風土の改善」と言った方がわかりやすい。

8 閉会